

演題 インプラント治療における合併症のリスクマネージメント

SBC 所属

伊東市開業 栄光歯科医院

土屋 厚

抄録

欠損補綴修復治療におけるインプラント治療は、失った天然歯の代わりに歯列弓の回復に寄与し、患者 QOL に多大な恩恵をもたらしてきた一方で、術中・術後に生じる合併症は、生物学的・力学的・医原性などの様々な原因によって引き起こされる。特にインプラント周囲炎を発症すると、バイオフィルムを機械的に除去することは難しく、継続的な妥協的メンテナンスを余儀なくされる。

解剖学的制約や周囲組織の状態、患者の希望などの何を優先させるかによって治療計画や術式の選択は異なってくるが、起こりうる合併症のリスクを低下させ、インプラント周囲組織の環境を整えた上で、清掃性・機能性・構造力学的安定性やトラブル時に対応のしやすい上部構造体を装着することが望まれる。Longevity (永続性) をコンセプトに据えつつ、より安全で、より低侵襲な治療を心掛けたいと考えている。今回、臼歯部インプラント治療を中心に臨床症例を提示し、皆様のご意見を賜りたい。